

| | |
|--|--|
| <p>1 学校教育目標</p> <p>生徒一人ひとりの能力を伸ばし、ビジネスの知識と技術を習得させて地域や経済社会の発展に寄与しうる、心豊かで心身ともにたくましい人材を育成する。</p> | <p>2 本年度の重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業と部活動に全力投球し、礼節を重んじた教育を育成する ② 教職員の業務効率化にむけた教育実践の充実を図る ③ ビジネス教育の実践と学習を通して地域貢献できる人材を育成する ④ キャリア教育の中で自己の進路について深く、幅広く学び、考えさせ志を高める教育を実践する ⑤ 「心の教育」と人権教育・研修を充実させて、いじめと体罰のない学校をつくる ⑥ 主権者教育に取り組み、主権者として必要な自覚と問題意識を持たせる |
|--|--|

3 目標・評価

① 授業と部活動に全力投球し、礼節を重んじた教育を育成する

| 領域 | 評価項目 | 評価の観点 (具体的評価項目) | 具体的目標 | 具体的方策 |
|------|----------|---|--|--|
| 教育活動 | ●学力向上 | ①基礎学力（文字力、英単語、文法等、数学）の向上、定着 ②学びの基礎診断の活用を図る。 ③資格取得 | <ul style="list-style-type: none"> ・全教科について家庭学習の定着を目指す。 ・実用英語検定、全商英語検定において、昨年度以上の受検者、合格者を目指す。 ・進路に関わる数学力の向上を目指す。 ・客観的データに基づき、個人の理解力を把握し、学習方法の改善を目指す。 ・1年生→全商簿記2級、情報処理3級の取得を最低限の目標に掲げる。 ・2年生OAコース→全商会計1級、原価計算1級（簿記1級）、ビジネス文書2級を取得させる。 ・情報処理コース→更に情報処理1級も追加。 ・会計科→日商簿記2級等の資格取得を目指す。 1学期に簿記の補習を実施し、手厚い指導を心掛ける。 ・3年生については課題研究などで目標を設定させ自発的に検定取得を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業明けの課題テストの実施。 ・漢字力テスト、英単語テストの定期的な実施。 ・授業や個人指導を通して検定取得を目指した指導を行う。 ・実力診断テスト（1年6月）→選科資料 ・実力判定テスト（3年6月）→進路選択 ・1年生については基礎基本を指導し積極的に学ぶ姿勢を定着させる。 ・2年生は1年次に取得した資格を基礎に上級の資格取得ができるよう授業等で論理的に理解できるよう指導する。また、取得できなかった資格を補習等で指導し、再チャレンジさせる。 ・3年生は自ら考え行動できるように課題研究などで自らの方向性を考えさせながら、高度資格取得を目指す環境を整える。 |
| | ○部活動指導 | ①部活動の活性化を推進する。 ②部活動を通して、心身ともにたくましい健全な生徒を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けた部活動の加入率向上を目指す。 ・競技力の向上だけでなく、挨拶の徹底、ルールやマナーを遵守する心の育成、ひいては、施設・設備、部室、用具等を大切にすることを育てる。 ・部活動を通して、人間形成を図るとともに、自己目標達成に向けた指導を工夫する。 ・活動の中で、社会性や集団行動の大切さを育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・加入状況の確認・把握し、未加入者には担任と連携しながら加入への働きかけを随時行う。 ・部室や施設設備の定期的な点検を行う。 ・各部部长との定期的な連絡会を行い、左記の要領を説明し理解させる。 |
| | ●健康・体づくり | ①朝食摂取率の向上およびの自己管理能力の向上 ②健康に関する自己管理能力の育成 ③学習環境の整備を図る | <ul style="list-style-type: none"> ・朝食を毎日摂取する生徒の割合90%以上をめざし、生徒がバランスのとれた食生活をおくれるよう啓発する。 ・感染症予防の指導充実により罹患率の減少、感染拡大防止を図る。 ・視力・歯科に関して治療勧告者の受診率50%以上を目指す。 ・清掃・ゴミ持ち帰り指導の充実。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりや食育だよりによる情報発信。 ・「食に関するアンケート」の結果に基づく実態把握および個人指導。 ・気になる生徒の個別面談を行い状況把握に努める。 ・個別指導の充実をはかる。 ・日々の全校一斉清掃、毎月の掃除点検により美化意識の向上を図る。 |
| | ○進路指導 | ①就職の内定率向上 ②推薦入試合格率の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・朝自習の時間を利用し基礎学力の定着を図る。 ・就職内定率100%を目指す。特に県内就職者数を増やす。 ・推薦入試合格率100%をめざす。 ・小論文の指導力向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・朝自習の教材を学習用PCも活用し工夫する。 ・夏季休業中の面接・小論文指導の充実を図る。 ・小論文講座への教員の参加を図る。 ・必要に応じて面談を行い、生徒の進路希望を把握する。 ・適性検査や学力検査を活用し、生徒の能力・希望に応じて適切な指導を行う。 |
| | ○生徒指導 | ①基本的な生活習慣の確立及び規範意識の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・当たり前のことを当たり前でできることがいかに大切かを説く。 ・基本的な生活習慣を確立させる。 ・交通ルール、マナーを理解させ、交通安全の徹底を図る。 ・服装を正し、髪指導の徹底を図る。 ・情報通信ネットワーク社会の危険性を理解させ、正しい情報モラルを身につけさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒指導部だより」を活用し、指導の充実及び規範意識向上を図る。 ・登校指導等において、交通ルールと8時30分登校の指導を行う。 ・学年と生徒指導部が連携を図り、身だしなみの指導を行うとともに、HR、授業、部活動など、教育活動全般にわたり注意深く観察し、指導を行う。 ・講演会や行事等を企画し、唐商生としての自覚・意識を高める。 |

② 教職員の業務効率化にむけた教育実践の充実を図る

| | | | | |
|------|-------------------------|---|---|---|
| 教育活動 | ○教育の質の向上に向けたICT利活用教育の実施 | ①ICT利活用ルールを守りつつ、学習用パソコンの活用を通じた教育活動の充実を図る。 ②ICT利活用教材の研究 | <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の利活用ルールの周知徹底を目指す。 ・15人以上の職員が学習用パソコン用教材を自作することを目指す。 ・校内外の活動において学習用パソコンを用いた発表を年間8回以上実施することを目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒・職員に対してICT機器の利活用ルールの周知に努め、ルールの中での活用を呼び掛ける。 ・生徒が学習用パソコンを用いて発表資料の作成ができるように支援する。 ・情報セキュリティモラルについて呼びかける。 |
| 学校運営 | ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ①業務改善に取り組み、自発的時間外勤務を削減する。 | 自発的時間外勤務を20%削減する。 | ・部活動計画により、活動時間や内容について検討を行い削減策を検討する。 |

③ ビジネス教育の実践と学習を通して地域貢献できる人材を育成する

| | | | | |
|------|---------|--|--|--|
| 教育活動 | ○地域との連携 | ①地元企業のホームページを管理運営し企業側からの要望や指摘を受けながら随時更新を行い、1年を通して総合的に評価する。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒が管理、運営するからつ学美舎は現在十数社と契約しているが、これを更に増やす。 新商品を6月末までに完成させ販売する。 昨年度より「金融教育研究校」の委嘱を金融広報委員会より受けたので、過去から現在の金融について知識を深め発表をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 大手デパート、百貨店など多くの客が集まる場所での販売、PR活動を増やす。 今年度は新商品で地域活性化へ貢献する。 「金融教育」では外部講師の招へいによる講義で多くの知識を吸収し、調べ学習で、知識理解を深めさせる。 2年間の研究成果を発表する。 |
| | ○地域貢献 | ①地域に有用とされる唐商生の育成。 ②地域と連携を深めた教育活動の推進。 | <ul style="list-style-type: none"> 明るく笑顔と挨拶による街づくりへの貢献する。 地元企業のイベントへの参加や販売実習を毎月行う。 虹ノ松原清掃活動の実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> 校外での挨拶やマナーを向上させ徹底させる。 学び舎出店企業のイベントの手伝いや販売実習を行う。 生徒会やボランティア同好会を中心に、積極的に奉仕活動に参加する。 NPO法人KANNEとの連携により、虹ノ松原清掃活動を実施しその意義を深める。 |

④ キャリア教育の中で自己の進路について深く、幅広く学び、考えさせ志を高める教育を実践する

| | | | | |
|------|----------|--|---|---|
| 教育活動 | ●志を高める教育 | <p>①キャリア教育</p> <p>②ミスマッチや早期離職防止を行う。</p> <p>③国際交流 (麗水情報科学高校との学校間交流)</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1年次・・・バス研修(大学及び企業)企業インタビューの実施 2年次・・・インターンシップ企業研究会の実施 3年次・・・講義(社会人講師招聘)進路セミナーの実施 <ul style="list-style-type: none"> LHRや学年集会を通じて、勤労意欲の醸成につとめる。 離職した生徒の情報を収集し、就労支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ハングル選択者が韓国語を積極的に使って、交流を進める。 受け入れに関しては、特定の生徒にではなく、学校全体・全校生徒で交流を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 1年次に自己の将来の進路設計を立てるために、企業インタビューや4年制大学の訪問、大手企業の見学を通して将来の進路選択のきっかけをつくる。 2年次は1学期の後半4日前後の企業研究を通して、インターンシップを実施する。 3年次進路セミナーを実施し、就職試験直前の面接指導等を外部講師を招聘し実施する。 卒業直前に外部講師により講演会を実施し、社会人としての準備をさせることにより、早期の離職を防ぐ。 進路ガイダンスで企業理解等を深める。 職員・OBを通じて、卒業生の動向把握につとめる。 生徒・保護者と十分に面談を行いミスマッチをなくす。 <p>① 訪問・受け入れに関して、国際交流委員会を複数回開催する。</p> <p>② 交流に関して周到な準備を行い、授業内容を生かした交流会を実施する。</p> <p>③ 受け入れの準備段階で、全体的な交流に関する共通理解を図り、各教科間での役割分担を明確にする。また、ハングル選択者が交流相手の支援や案内が出来るように指導する。</p> |
|------|----------|--|---|---|

⑤ 「心の教育」と人権教育・研修を充実させて、いじめと体罰のない学校をつくる

| | | | | |
|------|-------------|--|--|--|
| 教育活動 | ●心の教育 | ①教育相談体制の充実 | <ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラーの年間来校予定表を保護者にも配布掲示し相談しやすい環境を作る。 教育相談の機会を設定し、職員と生徒の信頼関係と生徒理解を深める。 職員研修を実施し、情報提供等を行うとともに、学級経営の支援をしていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 教育相談週間を設け、心理検査を実施する。 スクールカウンセラー事業を有効に活用する。 特別支援教育・教育相談の職員研修会を1学期内に実施する。 |
| | ●いじめの問題への対応 | ①教職員や友人と信頼できる関係の中、安心・安全に学校生活を送ることができる。 | 日頃より生徒からの小さなサインを見逃さないよう、生徒理解に努める。いじめの防止に重点を置き、早期発見・早期対応に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> 年2回のいじめアンケート調査を実施し、早期発見に努める。 月に1回程度、生徒の情報共有の時間を設け、職員の共通理解を図る。 いじめが疑われたら、学年団を軸に正副担任・教科担当者、部活顧問の関係者が話し合い、いじめ対策委員会を開いて共通理解の下、迅速に対応する。 |
| | ○人権・同和教育 | ①人権を尊重し、差別を許さない態度を育成する活動を行う。 | 人権や差別について考えさせる学習や研修を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員研修を充実させ、職員の人権・同和教育についての理解を深める。 人権学習や進路保障を通じて、差別を許さない態度や姿勢を養う指導を行う。 |

⑥ 主権者教育に取り組み、主権者として必要な自覚と問題意識を持たせる

| | | | | |
|------|----------|---|---|---|
| 教育活動 | ○職員の共通理解 | ①選挙の実態を理解させ、話し合いを通して自己の意見を構築することによって、主権者としての自覚と問題意識を持たせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 選挙に関する基本的知識を身につけさせる。 社会的課題を見だし、仲間と共に考えをまとめる姿勢を育てる。 「主権者」として、国政に参加する意識を持たせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 年間計画に沿って、学年や教科との連携を図り、主権者や選挙について時間を設けて扱い、理解を促す。 地歴・公民科では、時事問題を取り上げ、現在の社会問題について考えたり、話し合いをする場を設け、「主権者」としての自覚を持たせる。 |
|------|----------|---|---|---|

●は共通評価項目のうち必須項目、◎は共通評価項目のうち特定課題、○は独自評価項目